

平成30年度 宮崎県立小林高等学校 【自己評価書】

（ 4段階評価 4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する ）

教育目標 立志鍛練の校訓のもと、次代を担う知・徳・体の調和のとれた人間力の育成、学力の向上をめざす教育を積極的に推進、地域から信頼される学校、を目指す。						
重点目標	評価項目	計画 (PLAN)	実践 (DO)	評価 (CHECK)		改善 (ACTION)
		重点努力目標	方策・手立て	学校自己評価	学校関係者による評価	* 結果の考察・改善
知育の推進	基礎・基本の定着と学力向上 (高橋誠)	授業の改善・授業力の向上 個別指導の充実 家庭学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> 「主体的、対話的で深い学び」の視点からの授業改善（研究授業、校内研修） 授業評価アンケート活用（職員研修会） 成績上位者の指導（個人添削指導、特別講座） 成績下位者の指導（学習相談会、指導カード） 「私の生活学習ノート」の活用（担任による点検とコメント指導） 二者面談や三者面談の充実、家庭との連携 	3.0	3.1	<ul style="list-style-type: none"> 授業改善について、外部講師を招いての職員研修を初めて行った。職員への良い刺激となった。今後、各教科での具体的な取り組みを希望する生徒が増えているので、1年次の早い時期から生徒に高い進路目標を持たせ、難関大学の希望者を増やす方策を考えていく。 定期考査で欠点を取った生徒は、考査直後と次の考査直前には教科担任による特別指導を行った。その結果、学期末では欠点を充実にさせるため、生活学習ノートを用いた点検・指導を行っているが、年々自宅学習時間が減少しており、課題提出ができていない生徒が増えている。家庭との連携も図っていく必要がある。
	進路指導の充実 (緒方)	進路保証のための学力保証 多様な進路に対応する指導体制 進路意識の啓発・高揚	<ul style="list-style-type: none"> 学力検討会・志望校検討会の内容充実 夏季学習会（全学年）、春季英数講習会（2年）の実施 探究科学コース、類型に応じた指導・対策の研究 推薦・AO入試に向けた指導の充実～（小論・面接・討論指導） 進路講演会の実施（年5回）、職業講話・出前講座の実施（年3回） オープンキャンパスへの参加の推進、立志クラブの定例化・内容充実 	3.0	3.2	<ul style="list-style-type: none"> 入試制度の多様化、並びに個々の生徒の進路希望の多様化や幅広い学力層に細かく対応していくために校内の指導体制についての見直しを含め、どう構築していくかが大きな課題である。 地域や地域の小中学校との連携を密にし、本校の取り組み等の情報発信や意見交換に力を入れる必要がある。 外部との連携意識を高める必要があり、多くの刺激を与え、難関校へチャレンジする生徒の支援体制をさらに組織化する。
徳育の推進	規範意識の向上と生徒指導 (矢野)	基本的な生活習慣の確立 社会的規範意識の高揚 環境美化意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> 朝の立ち番指導の充実と「時間厳守」「挨拶」の徹底 各学年における「服装容儀指導」の徹底と、風紀委員会の活性化 交通安全教室、情報モラル教室、薬物乱用防止教室の充実と、全校集会や学年集会における規範意識の高揚。 ごみの分別、持ち帰り指導、クラスや部室の整理整頓 	3.0	3.4	<ul style="list-style-type: none"> 全職員の協力によって朝の立ち番指導が徹底されており、生徒の多くが元気に登校している。生徒による問題行動が数件発生したが、特別な指導により生徒たちの反省と人間的成長の機会となった。 登下校時の自転車事故が数件起こり、救急搬送程度の大規模な事故も起こった。また、地域の方々から自転車のマナーや車の送迎に関する苦情が数件寄せられ、注意喚起、現場での立ち番指導などを行った。 清掃を一生懸命する生徒を育てる工夫・改善を図る。
	道徳・人権教育の推進 (教頭)	在り方・生き方の教育の推進 命を大切に教育の推進 人権教育の推進・意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> 在り方・生き方に関する講演会の実施 薬物乱用防止教室、WYSH学習の開催、エンカウンター活動の計画的な実施（保健部・人権） 各学期の人権教育（生徒向け）と職員研修の実施 	3.2	3.1	<ul style="list-style-type: none"> 在り方・生き方講演会（2回）、進路講演会（全校、学年別）を実施し、自分らしい生き方を実現しようとする意識の向上につながった。 WYSH学習並びに人権教育では、保健体育の教員や外部講師による講演を実施した。 学校行事の様々な機会を捉えて人権教育を行い、性や命の大切さ、人との関わり方、コミュニケーションスキル等幅広く学んだ。
体育の推進	心身の健康と鍛練 (教頭)	心身の鍛練の推進 健康・防災教育の充実 教育相談室体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> 保健委員会（生徒会）の活動促進、保健便り・ポスター等による情報提供、支援学校との交流会実施 健康講話の実施や防災関係の職員研修の実施 教育相談情報委員会（毎週実施）の機能充実と関係機関との連携促進 	3.0	3.4	<ul style="list-style-type: none"> 保健委員会の活動が活発になり心身の健康や生活習慣の確立につながった。支援学校との昼食交流会を通して心身の健康を学び、人権感覚を磨いた。 本校OB職員をパネリストにした保健講話で生徒はより身近なこころとして心身の健康について考えた。保健部を中心とした救急救命法の訓練を生徒・職員共に実施したり、職員向けに危機管理の研修を行った。 早期に教育相談部や関係職員との連携を図り、組織的に対応できた。
	部活動の活性化 (矢野)	部活動の競技力向上 部活動加入率の向上 文武両道の実践	<ul style="list-style-type: none"> 部顧問、担任、外部指導者、各校務との連携指導 継続活動する生徒の育成と、未加入者への加入働きかけ 部活動と学業の両立ならびに高い目的意識の確立および担任、教科担任との連携強化 	3.0	3.4	<ul style="list-style-type: none"> 男女駅伝部、男女バスケットボール部、ウエイト部が九州大会や全国大会で善戦する活躍を見せた。その他の運動部、文化部でも各種大会で好成績が見られた。 部活動加入率は例年通り高いが途中で退部する生徒も数名おり、最後までやりきることの大切さをしっかり伝えたい。 部活動と学業の両立は学校全体で取り組む課題である。

学校評価委員の意見や提言 (原文のまま)

「進路指導の充実」の改善点として「地域や地元の小中学校との連携を密にする」とありますが、ぜひ情報交換等を行っていただきたいと思えます。

前回の評議員会でも意見しましたが、「内容のある自宅学習ができていない」というのは、今に始まったことではないと思えます。小・中学生の宅習状況を見ると、ただ頁に書くだけ、頁を文字で埋めるだけで学びになっていないような子供が多くみられます。もちろん、きちんと学びがある学習ができている子供さんもいらっしゃいますが、少ない気がします。そういった点の情報交換を行うことが学力向上につながるのではないのでしょうか。

朝の立ち番や昼の清掃、夕方の部活動と、生徒や教職員のみなさんの姿が1日を通してたくさんみられ、生徒の心身の成長だけでなく、地域活性化にも繋がり、ありがたく思っています。

運動部はもちろんのこと、美術・音楽・探究活動など様々な分野での活躍が今年も目覚ましかったです。これからも期待しています。

部活動について...地元の期待が大きい分、男女駅伝部が県大会で負けたことが残念でした。相手がいることなので難しいとは思いますが、来年度以降優勝して全国大会に行ってほしいです。他の運動部も期待しています。文化部については、目立たないけれども好成績を残していると思えます。文武両道で得られることは大きいと思えます。学業と部活動を楽しめる環境づくりを大切にに取り組むことを望みます。

学力向上について...授業等は職員研修を行ったりして工夫・研究していることと思えます。家庭学習の充実についても、指導を行っていることと思えます。どちらも生徒本人の意識が大事だと思えます。いかにやる気を出させるかに尽きると思えます。自宅学習については時間の長短よりも、いかに継続して学習するか、毎日1時間でも2時間でも、毎日継続することが大事だと思えます。

地域の伝統校として地元の皆さんは期待していることは事実です。赴任された先生方はご苦労が多いと思えますが、“チャンス”と考えて頑張ってもらいたいと思えます。応援しています。

全国的に子どもたちが年々少なくなる中で、この地元の小林高校に入ってよかったと思えるよう、また、卒業生たちがこれから高校を目指す後輩に対しても推薦できる学校作りをしてもらいたい。

この伝統あるコバ高を駅伝、バスケだけではなく、将来の夢や目標が考えられるような魅力ある学校を目指してほしいと思えます。

生徒たちに高い目標を持たせることは大切であるが、現状と目標の差を埋めるための方策を充実していただきたい。欠点を取った生徒に対する特別指導の成果も出ているようであるので今後期待しています。

進路指導については、保護者であった頃から丁寧に対応いただいていると認識しています。引き続き、生徒の目標の実現に尽力いただくと幸いです。

平素から学校の状況をつぶさに知り得ない立場で評価させていただくのは心苦しい限りですが、西諸の進学校としてさらなる発展を心から願っています。

小林市から探究科学コースの学外活動の受入れについて、年度当初のきめ細やかな打合せをお願いしたい。その際、学外活動の主旨・目的、小林市との連携事業における達成目標など共有していただきたい。よって、年度当初可能な限り早期に依頼文書をいただくとともに、探究科学コースのことがわかる資料や当年度の目標設定、スケジュール(わかる範囲で)などをご恵与ください。